

第1回畑わさび栽培技術研修会の開催

1 はじめに

遠野農林振興センターでは、平成25年度から寒冷な地域である遠野市の特色を活かした畑わさびの栽培に取り組んでいます。

畑わさびの種苗を安価に確保するため、採種からの種子貯蔵法と病虫害防除などについて、林業普及指導協力員の石関啓志さんを講師に招き、平成29年6月8日(木)に中沢畑わさび研究会の圃場園で研修会を開催し、畑わさび生産者17名が参加しました。

2 遠野地域の畑わさびの栽培状況

平成25年度から森林・山村多面的機能発揮事業や地域経営推進費を活用し、森林を活用して高収益が期待できる畑わさびの栽培に取り組んだところ、現在までの栽培面積は3.20haとなっており遠野市民の注目の的となっています。



【現地研修会(中沢畑わさび圃場)の様子】

3 畑わさび研修概要

今回の研修会は、来年の秋に植え付けする苗を育てるため採種及び種子の貯蔵方法、播

種後の除草、二年次圃場の追肥と病虫害防除について指導していただきました。

現地では、既に一昨年に作付けをした圃場で収穫が始まっており、当面の目標収穫量である2t/a以上の収穫が期待できるところもあるとのこと、今までの栽培研修の成果がみられます。



【畑わさび生産に向けた熱心な質問の場となった】

4 おわりに

今回の研修を振り返り、参加された畑わさび生産者は、研修内容を忠実に守りながら、これまでの経験則を生かした栽培管理に努め、更なる収穫量アップに向けた栽培技術の向上に努めていきたいと述べていました。

今年の10月5日～7日には「第51回全国わさび生産者大会」が遠野で開催されることから、遠野の畑わさびを全国にPRするとともに、新規参入者の拡大を図るため、更なる畑わさびの振興に向けた普及指導を展開していきたいと考えています。